

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画にもとづいた支援の実施状況が明確になる介護記録の工夫と、介護計画を見直す際のモニタリング・再アセスメント、サービス担当者会議を記録に残すことが望まれる。	モニタリング様式を活用し、系統立てた介護計画を作成し、より深く入居者様の生活、状況が見える記録を共有し、チームで寄り添う支援を行う事ができる。	モニタリング様式により、毎月の家人への状況報告を個別に行っているが、担当者を決め進めているがもう少し多職種等の意見、スタッフ間の意見を取り入れ記録に残す。本人、家族の希望、意向を確認し再モニタリングを行っていく。	12ヶ月
2	11	職員の意見・提案から、利用者の支援方法・サービス・運営についての検討を行い、職員が共有して取り組める仕組み作りが望まれる。	施設全体の会議等により意見提案を話し合う場はあるが、もう少し細分した形で深く意見・提案ができる場を持ち、持ち上げ施設全体で共有ができる。	各委員会、ユニット内、併設事業スタッフとの意見交換の場を増やし、全体会議で検討していく仕組みづくりをしていく。	12ヶ月
3	1	理念の実践状況を振り返る機会を設け、理念の共有と実践により取り組まれることが望まれる。	各委員会を立ち上げ総体的な角度から理念について振り返り共有し、実践できる。	教育委員会、事故感染委員会、虐待防止委員会により、理念をもとに委員会運営を行い振り返り、共有、実践していく。	12ヶ月
4	8	職員全員が一定の知識を持ち、成年後見制度等の活用が支援できるように、学ぶ機会を設けることが望まれる。	成年後見制度についての知識を高める。	社会福祉協議会の局長さんに以前一度講義に来て頂いたが、再度講師依頼する。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。